

これまでに寄せられた意見について

平成13年4月の「計画のたたき台」公表後から平成14年8月までに、パンフレット、広報紙、説明会、相談所、ホームページ等で情報を発信し、パンフレット添付はがき、説明会や相談所、電話、FAX、メール等により、みなさんからご意見をいただいたところです。

今回、これらのみなさんから寄せられた意見について、下記のとおり分類・整理しました。

1. 外環の必要性について

クルマ優先社会の見直しや総合的な交通政策を求める意見など、交通政策全般に関する意見がありました。

外環計画の意義については、必要性、効果と影響の提示を求める意見、また効果についての疑問、コストに関する懸念がありました。さらに環状道路の必要性について具体的な説明を求める意見がありました。

1-1 これからの交通政策について

1-1-1 社会・経済状況について

人口減少・高齢化など社会情勢の変化を踏まえた上でのクルマ優先社会の見直し、利便性より自然環境・生活環境を守ることを優先すべきなどの意見がありました。

1-1-2 総合的な交通政策のあり方について

自動車の流入規制などの交通需要マネジメント(TDM)^{※1)}、道路整備と鉄道整備との連携などのマルチモーダル施策^{※2)}や公共交通の整備など、総合的な交通政策を求める意見がありました。

また、道路政策に関しては、道路整備の必要性への疑問を呈する意見があった一方、生活道路を含めた整備に関する意見などもありました。

さらに、交通政策と関連する都市政策等との整合性に関する意見もありました。

1-2 外環計画の意義について

1-2-1 道路ネットワークのあり方について

・外環を含めた首都圏全体の道路ネットワークについて、「圏央道も含めて早期の完成を希望」といった首都圏3環状道路^{※3)}の整備に関する意見がある一方、「圏央道と中央環状が出来れば都心部への通過交通の流入防止は外環の必要性の理由にはならない」といった外環以外の環状道路整備で充分とする意見がありました。

・また、東名以南の整備や他の自動車専用道路との接続の考慮など、外環のネットワーク機能に関する意見がありました。

1-2-2 整備費用と整備効果について

外環整備にともなう費用に関して、公共工事の無駄や財政赤字に対する意見がありました。また、外環の採算性、費用対効果の検討についての意見もありました。

外環の整備効果については、交通、経済、環境、防災・市街地整備の観点から、効果を期待する意見と効果に疑問を呈する意見とがありました。

1-2-3 必要性に関する検討のあり方について

外環計画の必要性に関する検討のあり方について、必要性の説明や具体的なデータを求める意見、原点に戻って話し合うべきなどの意見がありました。

また、外環のメリットとデメリットの双方を提示した上での検討を求める意見などがありました。

2. 計画内容について

計画内容全般について、具体、詳細な情報を求める意見がありました。

ルートについては、変更や代替ルートの検討を求める意見、構造については地下方式にした場合の地上の住宅などへの影響、環境への影響や安全性に関する意見がありました。

インターチェンジ・ジャンクションについては設置の有無・設置の影響を懸念する意見、具体的な図の提示など詳細な情報提供を求める意見、地上部の利用については利用方法に関する様々な意見がありました。

2-1 ルートについて

「計画のたたき台」で提示した都市計画ルートについて、「環8の下に通すことはできないか」などのルート変更や代替ルートの検討を求める意見がある一方、「ルートを今さら変えないでほしい」などの意見がありました。

また、都市計画の詳細情報を求める意見もありました。

2-2 構造について

2-2-1 構造形式について

高架構造から地下構造に変更することへの意見やシールド構造延長をより長くするよう求める意見、地下構造の具体的な内容の説明を求める意見がありました。

また、大深度地下方式や技術的可能性に関する意見もありました。

2-2-2 地上部への影響について

想定されるシールド方式や開削ボックス方式それぞれについて、地上の住宅などへの影響を懸念する意見がありました。

2-2-3 地下構造の安全性について

「事故災害に充分配慮したものに」「火災事故になったら大変」など、地下構造の安全性への配慮や懸念を示す意見がありました。

2-3 インターチェンジ、ジャンクションについて

2-3-1 インターチェンジ、ジャンクションの有無について

インターチェンジの数の削減について検討を求める意見、必要がないとの意見がある一方、インターチェンジは必要との意見もありました。

2-3-2 インターチェンジ、ジャンクションの影響について

大気などの環境への影響や接続する道路への影響を懸念する意見などがありました。

2-3-3 インターチェンジ、ジャンクションの構造について

「ジャンクションがイメージできる具体的な図が必要」などの詳細な情報提供を求める意見がありました。

また、ジャンクションの地下化などの意見もありました。

2-4 地上部の利用について

2-4-1 地上部の利用方法について

現状維持、公園緑地・歩車共存道路の整備、公共交通の整備などに関する意見がありました。

また、詳細な説明を求める意見などがありました。

2-4-2 地上部の検討方法について

地上部の利用については、地元主体で検討を行うことを求める意見などがありました。

3. 環境について

大気、地下水、騒音、振動、地域交通、地域コミュニティ、施工中などに関する、様々な影響への懸念が示されました。

また、対策方法、調査結果等について、具体的な説明を求める意見、現地調査の実施を求める意見がありました。

環境問題を最重要視すべきとの意見がありました。

3-1 大気への影響について

3-1-1 大気への影響について

外環が整備された場合について、地下方式でも排出ガス等の影響を懸念する意見などがありました。

また、現状の環状8号線の沿道環境に対する不安などの意見がありました。

3-1-2 対策や調査、結果の公表について

「排出ガス対策の方法を具体的に説明してほしい」といった対策に関する意見や調査についての意見などがありました。

また、「排出ガスからくる空気の汚染について調査データを公表してもらいたい」といった調査結果の公表に関する意見がありました。

3-2 地下水への影響について

3-2-1 地下水への影響について

「地下水脈の寸断は避けられない」といった地下水への影響についての懸念を示す意見などがありました。

3-2-2 対策や調査、結果の公表について

地下水への影響に関して、「地下水対策について具体的に公表せよ」といった調査結果等の公表を求める意見などがありました。

3-3 騒音・振動の影響について

外環が整備された場合の騒音・振動の影響に関する意見などがありました。

また、騒音・振動に関する調査結果の公表を求める意見などがありました。

3-4 地域交通への影響について

外環周辺の道路や生活道路に関して、その整備や計画の検討及び説明を求める意見、周辺地域の生活道路への自動車流入に関する意見などがありました。

3-5 施工中の影響について

施工中の影響について、「ダンプとか出入りすると思うが、どんな影響があるのか心配」、「シールド工事の際、騒音・振動などの影響はないのか」といった意見がありました。

3-6 地域コミュニティへの影響について

地域コミュニティへの影響については、地域分断への懸念や現在の地域コミュニティの維持を求める意見などがありました。

また、街・商店街の活性化に関する意見もありました。

3-7 環境全般への影響について

環境全般への影響について、「現地調査を実施すべき」、「環境基準が守られるのか」、「環境問題を最重要視していただきたい」などの意見がありました。

また、景観破壊に関する意見や環境影響の調査・対策などに関する意見がありました。

4. 用地補償等について

外環の詳細な計画図について情報提供を求める意見がありました。

これまでの建築制限への不満、今後の生活設計が立たないことへの不安、相続の問題などの意見がありました。

用地買収や移転・営業補償などに関する質問や情報提供を求める意見がありました。

4-1 計画線に関する意見について

外環の計画線について、詳しい計画図や移転などに関する詳細な情報提供や説明を求める意見がありました。

4-2 補償に関する意見について

4-2-1 建築制限について

これまでの建築制限への不満を示す意見などがありました。

4-2-2 生活設計について

今後の生活設計が立たないことに対する不満を示す意見、相続の問題などの意見などがありました。

4-2-3 補償内容について

用地買収などについての個別の質問や説明などを求める意見がありました。

移転補償については、補償金額や移転先についての質問、「代替地を確保してほしい」といった意見がありました。

また、営業補償などの営業・生活再建についての意見や施工中の補償についての意見などもありました。

5. 進め方について

今後のスケジュールを明確にすべきという意見がありました。

沿線住民への事細かな情報提供を求める意見、幅広い意見の把握や反映などの方法についての意見がありました。

5-1 これまでの経緯について

外環計画に対して「これ以上の放置は怠慢である」といった意見、35年前の計画内容とその検討過程についての質問や意見がありました。

また、最近の動きに対する懸念や質問がありました。

5-2 今後のスケジュールについて

スケジュールについて、やるやらないをはっきりしてほしい、やるとすればいつ頃から着工していつ頃できるのか、といった意見や「慎重に進めるべき」との意見、短期集中工事を希望する意見などがありました。

また、意見を聞きながら進めていくことについて「時間がかかりすぎる」といった意見もありました。

5-3 新しい検討方法について

5-3-1 情報の共有について

「詳細図、具体計画を早く示してほしい」など、情報の積極的かつ定期的な公開・提供を求める意見、沿線住民への事細かな情報提供を求める意見などがありました。

5-3-2 意見の把握について

「きめ細かく説明する機会を設け、住民意見を集約してほしい」といった意見や沿線住民との十分な話し合いを求める意見、一般の利用者の意見も聞くことを求める意見、広域的な範囲で考えるべきとの意見などがありました。

また、個別相談を行うなど意見の把握方法への意見もありました。

5-3-3 意見の公表・反映について

意見を集約する方法についての意見や住民の意見の公表を求める意見、意見の反映方法についての意見などがありました。

5-3-4 新しい検討方法の進め方について

新しい検討方法の進め方に対して「計画決定の前段階から広く意見を聞くというのはいいことだ」とする意見、客観的なデータの提示や話し合いのルールを求める意見、進め方についての要望・提案の意見などがありました。

6. 外環計画に対する賛否について

整備に対して、賛成、反対との意見がありました

外環に対して「整備に反対」、「白紙撤回すべき」との意見がありました。また、「必要かどうかかわからない」との意見もありました。

一方、「早急に整備すべき」、「整備に賛成」との意見もありました。

1) 交通需要マネジメント(TDM)：車の利用者の交通行動の変更を促すことにより、都市または、地域レベルの道路交通混雑を緩和する手法の体系。

2) マルチモーダル施策：道路、航空、海運、水運及び鉄道等複数の交通機関の連携により、利用者のニーズに応じた効率的な輸送体系を確立する総合的な交通施策。

出典：「道路審議会建議 道路政策変革への提言」用語解説

3) 首都圏3環状道路：「首都高速中央環状線」、「東京外かく環状道路」、「首都圏中央連絡自動車道」の3つの環状道路。

出典：国土交通省資料